

## 高速道路で交通死亡事故が急増しています！ ～ 交通ルールと運転マナーの徹底を ～

NEXCO中日本(中日本高速道路株式会社、本社・代表取締役社長CEO・金子 剛一<sup>かねこ たけかず</sup>)は、当社が管理する高速道路において交通死亡事故が多発し、10月末までに43件の交通死亡事故が発生、44人の尊い命が失われた状況を受け、11月1日付けで社内に「交通死亡事故緊急対策本部」を設置するとともに、11月を「重点啓発強化月間」として交通安全啓発への取組みを強化したところです。

しかしながら、今月(11月)に入っても交通死亡事故が後を絶たず、昨日までに7件の交通死亡事故が発生、8人の尊い命が失われるなど、民営化以降で深刻な状況であった昨年を上回るペースで増え続けている状況です。

今後も継続して交通安全啓発の取組みを強化して参りますが、秋から冬にかけての観光・レジャーや年末年始の帰省等で高速道路を利用される機会が増えると思いますので、交通ルールを守ることは勿論、運転マナーも意識しながら、安全で快適なハイウェイドライブにご協力をお願いします。



### 【交通死亡事故発生状況】

■年別・月別発生状況(1月1日～11月27日)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	対前年比
12年	1	2	5	7	1	5	6	4	4	9	8	52	104%
11年	1	9	3	8	4	3	4	3	1	8	6	50	125%
10年	4	3	1	1	3	3	8	5	6	4	2	40	133%
09年	1	2	2	1	5	2	1	4	5	6	1	30	88%
08年	1	1	5	4	1	4	6	2	5	3	2	34	61%
07年	4	4	2	5	5	10	2	4	7	8	5	56	117%
06年	1	4	6	5	2	3	7	5	6	4	5	48	—

(NEXCO中日本調べ)

民営化以降で深刻な状況であった昨年を上回るペースで交通死亡事故が発生し、下半期にあっては民営化以降で最多(31人)となっています。

## 【交通死亡事故の特徴】

### ■事故形態別

#### 第1位:車外放出 11人

後部座席などシートベルト非着用により、衝突・追突の際に、車外に投げ出される事故が多くなっています。

車に乗ったら、前も後ろもシートベルトの正しい着用を！

#### 第2位:対人事故 10人

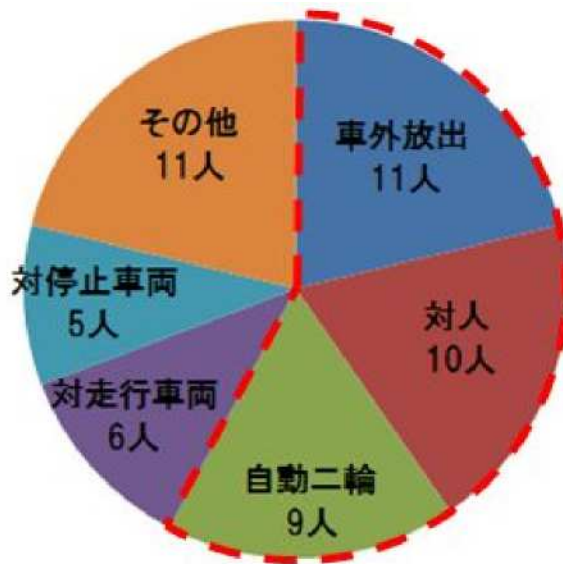
故障・事故発生時に、高速道路上に降車した人が後続車にはねられる事故が多くなっています。

故障・事故発生時は、後続車に車両停止の合図を行い、ガードレールの外など安全な場所へすみやかに避難を！

#### 第3位:自動二輪車 9人

自動二輪車の事故が多くなっています。

交通ルール・運転マナーを守って安全運転を！

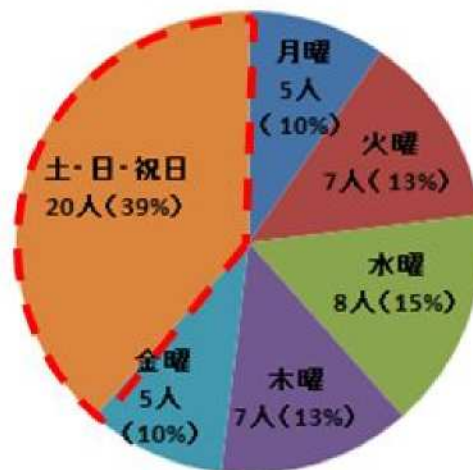


※この他、停止車両や渋滞後尾等での対車両事故も多くなっています。(11人)

### ■曜日(平休)別

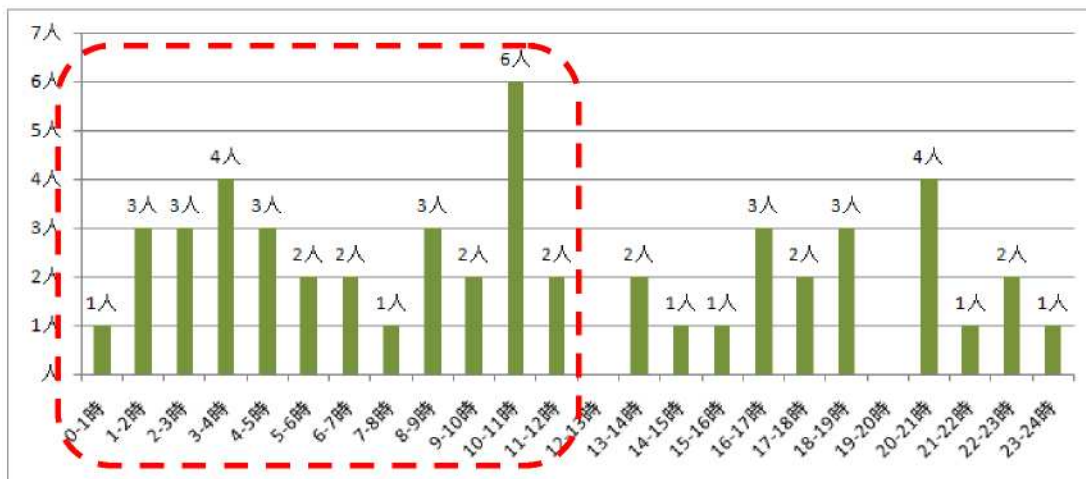
#### 土・日・祝日での交通死亡事故が多発

平日(月～金)に比べて、土・日・祝日の交通死亡事故の割合が高くなっています。



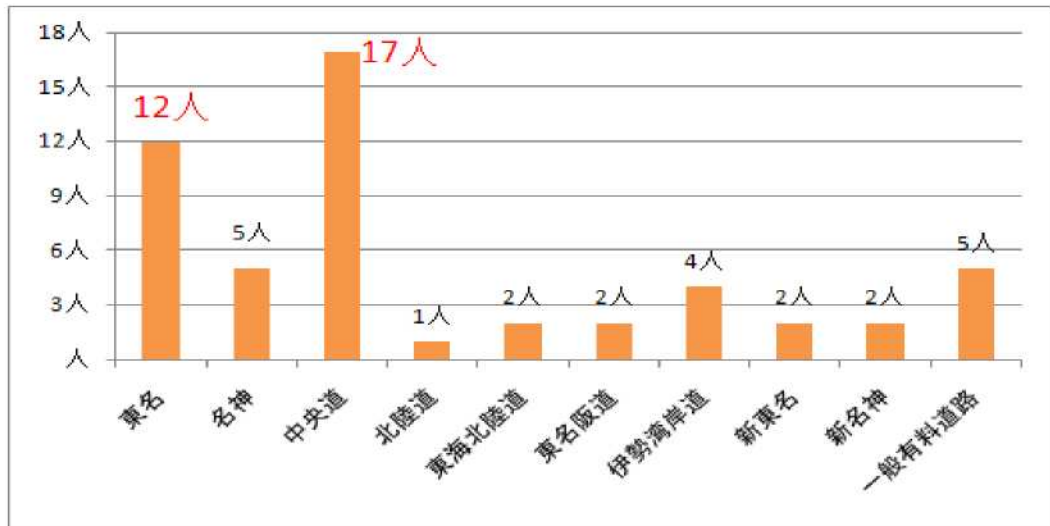
### ■時間帯別

顕著な特徴・傾向は確認できないが、深夜から午前中までの時間帯における交通死亡事故が多く発生しています。



## ■道路・路線別

中央自動車道(17人)及び東名高速道路(12人)で、交通事故の半数以上(約56%)を占めている状況です。



## 【交通安全啓発活動】

### ■交通安全キャンペーンによる安全啓発の呼び掛け



《交通管理者等との協働により、冬季(雪道)における交通安全啓発と併せて実施》

### ■サービスエリア・パーキングエリアにおける啓発



《タレント(上戸彩)を活用した安全啓発ポスターの制作及び安全啓発ポスターの集中掲示、安全啓発を中心としたインフォメーションボードの運用、エリアコンシェルジュによる安全啓発放送の集中実施》

■道路交通情報板、ハイウェイラジオ、Web サイト「i-Highway 中日本」など情報提供ツールでの啓発



《この他、ハイウェイテレホン、休憩施設内モニター、ホームページなど情報提供ツールによる啓発の徹底》

■チラシ・パンフレット等の配置・掲出



《タレント(上戸彩)を活用した啓発チラシの制作及び休憩施設等での啓発チラシの集中配置、  
トイレ・二輪車専用駐車場での集中掲示》

■交通管理巡回車による安全啓発表示



■専門誌への広告掲載

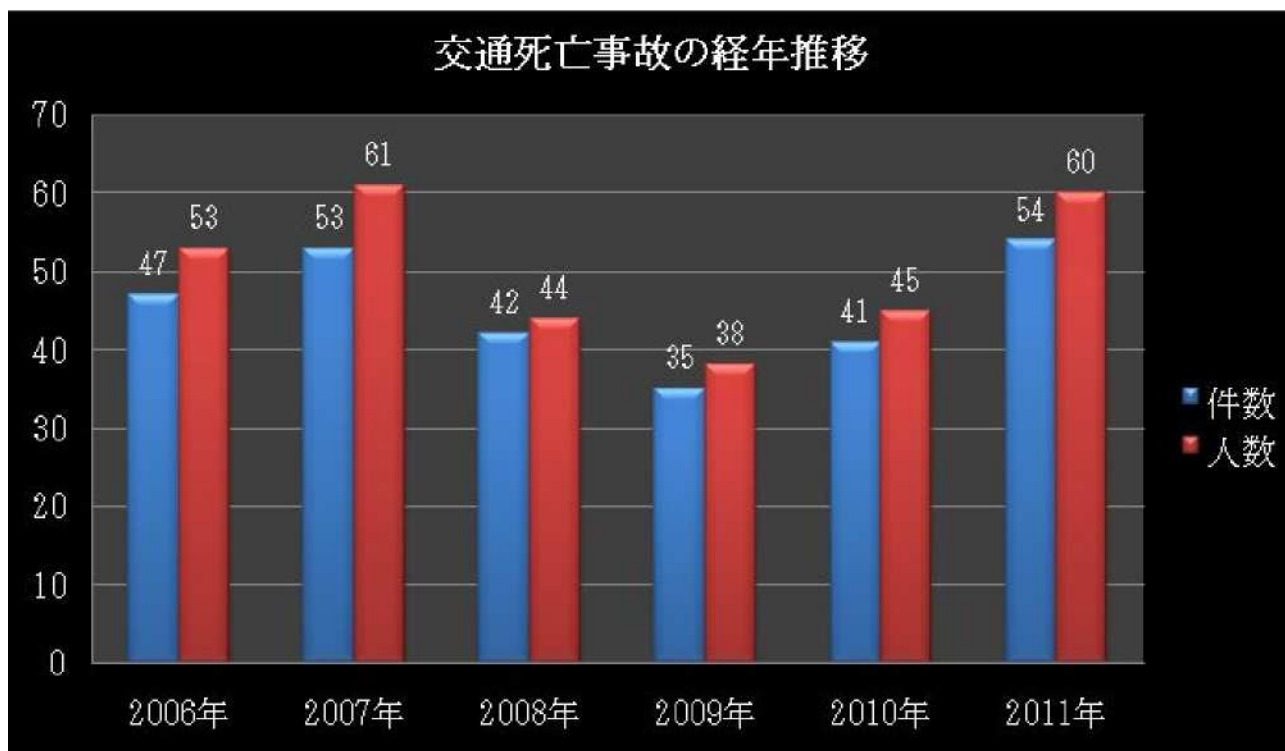


《物流及び自動二輪車の専門誌への広告掲載による安全啓発》

上記の他、「交通安全セミナー」による啓発活動などの各種ツールを活用するとともに、交通管理者(警察)との協働や関係団体(トラック協会等)との連携による交通安全啓発を強化して参ります。

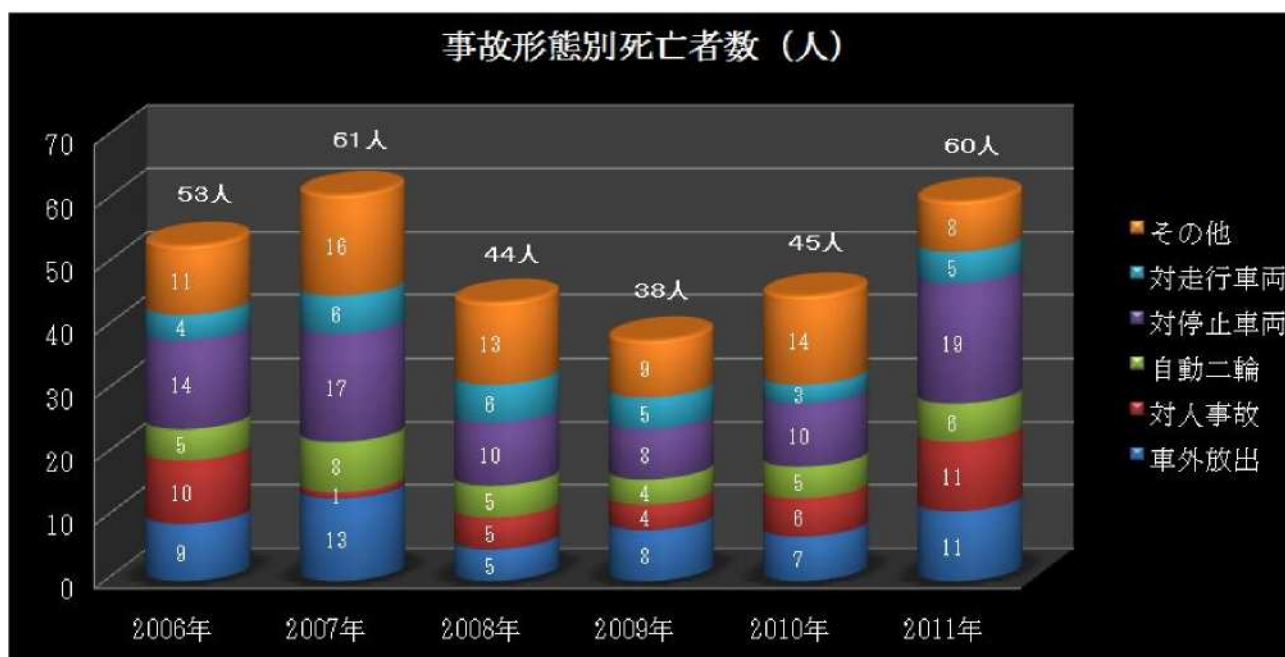
## 「交通死亡事故の経年推移・特徴」

## I. 交通死亡事故の経年推移（2006～2011年）



(NEXCO中日本調べ)

## II. 交通死亡事故の特徴（2006～2011年）



(NEXCO中日本調べ)

## ★高速道路を利用されるお客さまへのお願い★

## 事故・故障で停止した車の運転手さんへのお願い

## イ) 歩き回らない!

- ・できる限り本線車道にはみ出さないよう路肩内に停車しましょう。
- ・事故等やむを得ず高速道路上に停車する場合は、本線車道や路肩を歩き回らないでください。

後続車にはねられる「人と車」の死亡事故が多発しています



## ロ) 後続車に対する安全措置!

- ・あなたの車(停車中)に後続車が気付いているとは限りません。
- ・追突されないよう「ハザードランプ」、「発炎筒」、「停止表示器材(三角表示板等)」で後続車への合図を行きましょう。



## ハ) 安全な場所へすみやかに避難!

- ・車内には残らず、他の車に注意しながらガードレールの外など安全な場所に全員で避難しましょう。
- ・道路の横断や本線車道にはみ出しての作業は絶対にやめましょう。

後続車にはねられる「人と車」の死亡事故が多発しています



## 二) 事故・故障状況の通報

- ・非常電話、道路緊急ダイヤル(#9910)等で状況を通報してください。
- ・応対した係員の指示に従って行動しましょう。

情報板やハイウェイラジオ等で事故・故障車の情報をすみやかに提供します



## すべての運転手さんへのお願い①

### ホ) 出発前に車の点検！

- ・故障停止しないよう、出発前には必ず燃料、タイヤの空気圧、冷却水等の点検を行いましょう。また、「発炎筒」、「停止表示器材（三角表示板等）」の携行も忘れずに。

### ヘ) 最新の道路情報をチェック！

- ・情報板やハイウェイラジオ等でこまめに道路情報をチェックしましょう。
- ・この先の事故や故障、渋滞等の情報を見落とさないように。（聞き逃さないように）

### ト) 渋滞末尾や停止している車に要注意！

- ・前方で渋滞を発見し、低速走行や停止する場合は、「ハザードランプ」を点灯して後続車に合図を行いましょう。
- ・停止中の車付近には「人」が隠れている可能性があるので、前方をよく見て、速度を控えながら通過しましょう。

後続車にはねられる「人と車」の死亡事故が多発しています



## すべての運転手さんへのお願い②

### チ) 後部座席もシートベルト着用！

- ・乗車したら運転席や助手席だけでなく、後部座席もシートベルトを必ず着用させましょう。
- ・チャイルドシートはお子さまの体格と車に合った安全性の高いものを使用しましょう。

衝突や追突の衝撃で、車の外に投げ出される死亡事故が多発しています

